

2013 年度 センター試験 英語 (本試験) 分析

全体概況

試験時間 80 分

大問数・解答数	大問数：6 題	解答数：55 問
難易度の変化（対昨年）	難化 やや難化	変化なし やや易化 易化
問題の分量（対昨年）	増加	変化なし 減少
出題分野の変化	あり	なし
出題形式の変化	あり	なし
新傾向の問題	あり	なし
<p>総評 問題の分量、出題形式ともに大きな変化はなかった。読解問題では文構造が簡単で読みやすい文章が出題された。例年通り読解の比重が非常に高く（162 点 / 200 点）、細かな文法知識よりも語彙力や素早い処理能力が得点差につながるとされる。</p>		

大問別分析

大問	出題分野・テーマ	配点	コメント
第 1 問	発音・アクセント	14 点	形式上・難易度の変化は見られなかったが、発音問題が 4 題から 3 題に、アクセント問題が 3 題から 4 題に変わった。
第 2 問	文法・語法・会話	41 点	第 1 問と同様、形式上の変更は見られなかったが、C の整序問題を含め全体的に易しくなった。またイディオムの知識が多く問われた点が特徴的であった。
第 3 問	文脈把握 語数 A. 133 語 B. 387 語 C. 357 語	46 点	昨年と同様、語句の意味、意見の要約、欠落文の補充という形式で出題された。A の同意語句の問題はやや難しかったかもしれないが、全体的な難易度は標準であった。また C に「地図」が採用されていた点は新傾向。
第 4 問	資料読解 語数 A. 385 語 B. 183 語	33 点	昨年までと同様、情報の読み取りが出題された。A は<世界の衛生環境>についての事柄を本文と表から、B は写真スタジオの広告から情報を読み取る問題であった。A の問 3 は本文だけでなく、表のデータにも注意が必要である。
第 5 問	ビジュアル読解 語数 646 語	30 点	ある映画について 2 人の感想を読み取る問題が出された。問 5 は映画の内容について、その順序を答える問題であった。昨年度までの正しいイラストを答えるものではなかったが、落ち着いて取り組みれば得点できただろう。
第 6 問	長文読解 語数 633 語	36 点	昨年までと同様、論説文が出題された。<ダンスの役割>を扱った文章で、昨年度とほぼ同じ語数である。単語レベルが簡単にもかかわらず、英文の内容は読み取り難いものであった。とはいえ、設問の難易度は標準的なので、解く上では問題にならなかっただろう。